

沖縄県八重山郡竹富町は、沖縄本島から約470km離れた日本最南端の八重山諸島の中に位置する島で、琉球王朝「尚真王」時代（1465年～1526年）に、王府が竹富島出身の西塘（にしとう）をして八重山を統治した島で、古くからの生活風習や民俗芸能等先人が築いた文化遺産を守り育てている島です。

昭和61年に「竹富町歴史的景観条例」を施行し、沖縄の原風景と言われる古琉球の様式を踏襲した集落景観の維持保全に務めているほか、昭和60年に「竹富島憲章」を制定し、その基本理念である西塘の遺訓「かしくさやうつぐみどまざる」（一致協力することが何より大切である。）に基づいて、美しい景観の保存に努めています。

竹富町は、美しい自然や集落のたたずまいを色濃く残している地域のひとつで、中でも竹富島の景観は際立っており、南国特有の自然に調和した石垣や赤瓦屋根の民家等人文景観に富むなど、竹富島集落は島民が守り育てた素朴な「石垣」の芸術となっています。

また、平成元年には約9万人であった観光客が、平成16年度には年間約36万人がこの島を訪れ、沖縄観光の代表的な箇所となってきている。

#### ●竹富島憲章

私たちは、祖先から受け継いだ伝統文化と美しい自然環境を誇り「かしくさやうつぐみどまざる」の心で島を生かし、活力あるものとして後世へ引き継いでいくためにこの憲章を定めます。

#### 保全優先の基本理念

1. 「売らない」島の土地や家などを島外者に売ったり無秩序に貸したりしない。
2. 「汚さない」海や浜辺、集落等島全体を汚さない。
3. 「乱さない」集落内、道路、海岸等の美観、島の風紀を乱さない。
4. 「壊さない」由緒ある家や集落景観、美しい自然を壊さない。
5. 「生かす」伝統的祭事、行事を精神的支柱として民俗芸能、地場産業を生かす。

私たちは、古琉球の様式を踏襲した集落景観の維持保全につとめます。

私たちは、静けさ、秩序ある落ち着き、善良な風俗を守ります。

私たちは、島の歴史、文化を理解し教養を高め、資質向上をはかります。

私たちは、伝統的な祭りを重んじ、地場産業を生かし、島の心を伝えます。

私たちは、島の特性を生かし、島民自身の手で発展向上をはかります。



家並み



牛車



- ① 沖縄県八重山郡竹富町
- ② ・八重山での交通の拠点石垣島へは飛行機とフェリーで渡ることができます。石垣空港から石垣港離島桟橋まではバスかタクシーをご利用ください。石垣港離島桟橋から各島への所要時間約10分です。
- ③ 石垣島、小浜島、黒島、西表島、波照間島などが近隣観光地
- ④ 9月（旧暦8月8日）世迎い（ユーンカイ） 9月（旧暦8月15日）十五夜祭り（ジュンジャ） 11月1日～9日 種子取祭り（タナドゥイ）
- ⑤ 地域住民の毎日の清掃活動  
[http://nakamori.tedon.jp/ivent\\_2005.htm](http://nakamori.tedon.jp/ivent_2005.htm) （竹富公民館）  
<http://www.smpo.gr.jp/npdata/kyushuokinawa/qs06.html>  
 （竹富島集落景観保存調整委員会）
- ⑥ 内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課  
 電話番号 098-866-0090  
 竹富町役場 建設課  
 電話番号 0980-82-6191

